

令和6年度 第4回 保土ヶ谷区障害者地域自立支援協議会 相談支援部会 議事録	
日 時	令和6年7月26日(金) 15:30~17:30
開催場所	保土ヶ谷区役所 地下会議室
開催形態	公開(傍聴人: 名) ・ 非公開
議 題	<ul style="list-style-type: none"> ●「勉強会」=意思決定支援について、当事者サークルの実践に学ぶ ●「交流会テーマ」=【意思決定支援 アンケート】をもとにグループワーク
議 事	<p>1. 開会あいさつ、新規参加の方紹介、本日の予定 (15:30~15:35)</p> <p>・司会進行: 相原氏(恵和相談室)</p> <p>本日は2部構成で第1部は「おもいきり会」の方々に来ていただき、実際の活動を話していただきます。その為、他部会の方々もゲスト参加されています。第2部は、相談支援部会メンバーのみで「意思決定支援のアンケート」を元にグループワークを行います。</p> <p>2. 勉強会 I (15:35~16:35 ※60分) スクリーン/プロジェクター使用</p> <p>・テーマ「意思決定支援」 ~「おもいきり会」の実践に学ぶ~</p> <p>保土ヶ谷区で活動している当事者のみなさんのサークル「おもいきり会」の活動から、意思決定支援について考えたい。</p> <p>⇒厚生労働省「意思決定支援の基本的考え方」として</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私(本人)の視点から考える ・チームで支える、一緒に支える。 <p>【ゲスト】Hさん(当事者)・Yさん(当事者)・安東さん(サポーター)・木村さん(サポーター) ・</p> <p>① おもいきり会 これからの活動紹介 ビデオを流す</p> <p>② 先日行われた定例会の様よりビデオを流す(意思決定支援のあり方)</p> <p>③ 当事者からみた意思決定支援(心掛けていること)&メッセージ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろんな人の意見をできるだけききたい。話せる雰囲気作り、声掛けをする。 ・自分のやりたいこと、行きたいことが伝えていく。 ・規制が少なく、自由がある。みんなにとって楽しい時を過ごせるようにしたい。 ・話している人を誰も遮らず、否定せず、相手の意見をみんなしっかり聴いている。 ・お知らせもして、参加者もちょっとずつ自分の言葉で話せるようになっている。 <p>④ サポーターからみた意思決定支援(心掛けていること)&メッセージ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援者と当事者というのではなく「ひとと人のお付き合いの中で育んでいる。」 ・何もない時、サービスもない時は、勢いでやってきた。やらざる得ない面もあったが、自分も楽しんで参加していた。地ならしをして、石橋を叩いて、二の足を踏むことは常にあるが、それでも何度何度も話し合いを重ねて決めていくことを大事にしている。 ・いろんな方々とのつながりを重なり合い、通訳の方々やボランティアと出会っている。誰かかしらが誰かをつないでくれて、ハワイ旅行へ行き、無事に帰国できている。他の行事等も同様である。 ・参加者もサポーターも年を重ねてきた。これからどう存続していくのかがカギであるが、ぜひみなさんのお力も借りていきたい。

3. グループディスカッション おもいきり会の取組を聞いて感じたことを話し合う

(16:35-16:50)

・各グループとも、ファシリの方で進行してください。

【1G: 恵和/相原氏、2G: 夢 21/谷口氏、3G: 生活 SC/前沢氏、

4G: 生活 SC/遠藤氏、5G: 光の丘/上村氏】

【感想】

- ・経験を重ねることで、意志が強くなっていることを感じた。何のための意思決定か？考えさせられた。
- ・参加者が長い時間をかけて、みんなの輪の中に入った話は印象的だった。
- ・ハワイ旅行という目的に、長く取り組み続けられるすごさ。
- ・皆さんのまとめることの難しさも知った。
- ・みなさんの引き出す工夫として、モニタリングの際、困っていることはないか聞く。日常生活上の意思と緊急時の意志は異なるアプローチが必要。
- ・散歩・雑談しながらなど環境を変えたアプローチ。ひとの役割分担が大事。
- ・実行力の凄さ！！ハワイ旅行⇒なによりも、実行までキープできたことがすごい！！
- ・当事者の方が 日程 話し合いの場を作れるのがすごい。雰囲気的大事。
- ・ケアプラザとしてできる支援を考えたい。周知やボランティア協力など繋げていきたい。
- ・活動を知れてよかった。アナウンスしたい。行きたいところに向けて、バックアップしているのがすごい。
- ・人間力がすごい 皆でチームワーク よくやっている。
- ・根気よく話し合い、支え合っているのがすごい。担い手が減り 不足しているのは残念。
- ・プロセスを踏んで、課題をクリアしていくことを当事者と支援者が一緒に取り組んでいる。
- ・ゆるいとはいえど、組織としてきちんと話せる場であり、参加しやすい。
- ・ハワイに行くまでに、伊豆 から始めるなど自己実現を目に見える形にして進められている=自信になる想いを実現できる！
- ・当事者が主体となり、議論し高い目標でやっていける話し合いが楽しくできている。

4. ゲスト感想 (16:50-16:55)

***Hさん、Yさんより。**

- ・一人一人の意見を大切にしていきたい。これからも話せる雰囲気作りを大切にしていきたい。
- ・ゴスペルを披露。9月14日に生田緑地でゴスペルの紹介。

***おもいきり会 Hさんより**

何かを始める時、サービスがない時は勢いでやり始めた。やらざる得ない面もあった。でもそれは強制などではなくて、参加者自身も最初は受身でも時間を共にする中で、発信をしていったりした。自分自身も楽しんで参加していた。地ならしをして、石橋を叩いて、でも二の足を踏むという繰り返しをしながら、進めてきた。利用者も高齢化、支援者も高齢化をしており、これからどう存続していくかについては、ぜひみなさんのお力も借りていきたい。

4. 司会進行 (16:55-17:00)

・司会の相原氏より。

意思決定支援の勉強会はいかがだったでしょうか？ ゲスト参加くださった皆様、ご参加ありがとうございました。お気をつけてお帰り下さい。

このあと、相談支援部会の方は第二部の交流会がありますので、お残りください。

5. 第2部 交流会 「意思決定支援アンケート」より 意見交換タイム (17:00~17:25)

第2部進行：進行：相原氏

・趣旨説明

横浜市障害者自立支援協議会（本体会議）にて、意思決定支援の取組推進に向けた「支援のヒント集」を作成に伴い、現場で日々実践されている参加者のみなさまにアンケートのご協力を頂きました。アンケートを元に、それぞれの立場や障害種別でも、意思決定支援の促しや関わり方・タイミングも違う面もあると思われます。グループワーク内で、ジレンマ・葛藤等を含めて共有を図り、明日からの支援につなぎたいと思います。

・進行は、各グループのファシリでおこなう。

【1G：恵和/相原氏、2G：夢 21/谷口氏、3G：生活 SC/前沢氏、4G：生活 SC/遠藤氏、5G：基幹相談/田村氏】

【 自身の事業所で「意思決定と考えられる取り組み」について

- ・個別支援作成会議に本人と一緒に参加、本人の希望を受けとめる。
- ・面談話をして意見を尊重、グループホーム「出たい」ならその意思を尊重する。雰囲気だけでも移動や体験の場を設ける。
- ・カンファレンス実施、自治会 忘年会への参加。簡単な意思決定と積み重ね。2 択の選択給食等。
- ・子供はアンケートを使用しているが、親の意思決定なのか？言えない子供は、支援者が汲み取る。日頃からの何気ない会話を大切にする。
- ・やまゆり事件 芹が谷の運営に関わる。「ハンバーガーの会：話せる方で運営されていた」会議への参加、裏方の黒子として意思決定の支援。同じ活動でも自分たちで決めたのか、決まったものに参加するののかも違って来るかも。
- ・個別支援会議・担当者会議には本人参加していただく。ホワイトボードに○×△の記号を使い、達成度などの評価をすることで、しゃべるようになった人もいる。
- ・マトリックスを使用、パワーポイントを使用して確認
- ・雰囲気作り、場所は本人に合わせて設定する。
- ・本人不参加の場合は、事前に本人へ意見を聴き、担当職員など身近な人の意見を聴き、協力をしてもらう。
- ・支援者が望まない 本人の意思決定もあることも共有する。
- ・後見で関わる方の意思決定については、 自身で決めたこととして「旅行」があった。
- ・本人が障害受容できていない場合、親が「本人へ障害と言わないでください」と言われることもある。本人の気持ちを大切にするために、区役所など関係機関と連携・協働して本人へ伝えていく支援をしている。
- ・本人の表出する言葉などは、特に意識する。どのような背景から、そのような言葉が出ているのか？本当の意味の汲み取りが必要。

【 意思決定支援に取り組む過程の中で、どのような体験の機会・場の提供をしていますか？ 】

- ・知的レベルに合わせたアプローチ
 - ・経験させ、選択肢を広げられるようにアプローチ
 - ・体験期間などを本人に合わせて、長めにとる。
 - ・いろいろな人の意見をかき集める。
 - ・心理検査の結果についての問い合わせがあり、情報提供をする。
 - ・本人との信頼関係や本人が受け止められる関係づくりを、ピアミーティングの機会提供や活用をしている。ピアだと共通点や境遇に共感を抱き、当事者本人が受け入れやすい傾向がある為。当事者同士の情報交換、話を聞く機会として活用している。
 - ・必ず体験をしてもらう。行けない事情があれば、一緒に聞き、その場での失敗を含めて本人と一緒に体験をする。
 - ・本人の情報、アセスメントを集めて、本人の意思を支援者等で確認する。
 - ・子供の親の状況に振り回されることもある…。子供の意思なのか？直接、親に助言することは難しい。
 - ・自分で決められない人、いろいろな意見 あると思うが…⇒グループごとに話を少しずつ絞っていく。別の場所など、みんなが行けるよう 次の企画を考える
 - ・大規模になるとお金も多くかかると思うが…⇒働いている人「お金を貯めて」とお願いをする。
 - ・自分の意見を言えるようになるのに時間かかるか？⇒少しずつ慣れていく。周りの人が声掛けも
- ※この会の初めは、区と区社協関わって発足した。
- ・地域の意思決定支援として、区や 社協ケアプラザで地区の定例会に運営委員として参加をする。地域支援・各地域の困りごとを一緒に考えていく。（ 移動販売 食事作りなど）
 - ・地域に出て、会話を通じて知る。区社協、役所と共有、繋げていく。
 - ・緊急性の高い中で動くことが多い。本人の要望と状況によって細かくできないことあり、命を守ることが最優先。
 - ・成年後見制度を進める時に、時間をかけて、聴き取りができないこともある。
 - ・短期入所の場合、会議に本院も参加してもらい、言えることを話してもらう。日常的に話をして意思確認をする。入浴拒否について、タイミングを見て本人と話してみる。
 - ・何気ない会話から気持ちを知る。土台作りは大事。何を言っても良いという雰囲気作り 家族からの情報も大事。
 - ・言語的コミュニケーション難しい方もいる。日常的に接する支援者から ニーズを探る。偏らないようにチームで検討共有をする。
 - ・ご本人の発せられない隠れたニーズを捉えられるように、家族情報を伺っている。
 - ・病院 退院後の暮らしを考え 本人と家族の話・希望・協力可能なことを カンファレンスで聞く。日頃から病棟をぶらぶらし情報提供して、興味を持ってもらい選択できるようになれば良い
 - ・重度の方に 毎日声かけ想いを汲み取る
 - ・情報提供・場づくり（席の位置、話す順番など）カンファレンス中に都度 本人の理解を確認する。択するために体験を重ねり支援者も共有する。

6 お知らせ、情報提供等 (17:25~17:30)

◆基幹相談 お知らせ-1

□【計画相談の実施状況】R6.5月(6月主任連絡会) ※カッコ内はR6.4月との比較

	対象者数 (障福サ ービス+ 地域相談 利用者)	計画相談 決定数	計画相談未決定者				実施率 (計画相 談+介護 保険利用 者)	事業所 数
			介護保険 利用者 (ケアプ ラン)	セルフブ ラン 希望者	事業者が 見つから ない	その 他		
保土ヶ 谷	1,717 (+18)	889 (+5)	87 (-1)	289 (+9)	448 (+8)	4	56. 8% (-0. 4)	22 (± 0)
18区 計	27,590 (+28 5)	15,671 (+4 7)	1,466 (+3)	4,776 (+23 5)	5,543 (-5)	13 4	62. 1% (-0. 5)	286 (+ 1)

実施率は、18区中、12番目。事業所数は18区中2番目に多い。

◆基幹相談 お知らせ-2

計画相談事業所への訪問について

6月訪問実施：西部地域療育センター、かけはし、オレンジよこはま(実施済み)

7月訪問実施：恵和相談室、よこはま包摂、かのん相談室(実施済み)

8月訪問実施 **予定日：8月2日(金) 午後、8月20日(火) 13-15時**

8月22日(木) 午前

※8月22日AM=ハーモニー予約(もう1事業所OKです)

ご都合のつく計画相談事業所は、この場で手上げをお願いします!!

年度内に1回訪問します

◆そのほか告知等あれば・・・

◆次回の相談支援部会

日時:**令和6年9月27日(金) 15:30~17:30**

スタート時間 お間違え無く!

会場:保土ヶ谷区役所 地下会議室

内容:第1部:事例検討Ⅱ、第2部:交流会

ご案内メール(出欠確認等)は、9月に入ってからお送りします。

◆8月は休会となります

■閉会あいさつ 相原・部長より